

【英語科の目標】

- 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。
- コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

学習内容(予定時間数)※授業の進行状況や習熟の状況によって評価材料に変更が生ずることがある。

一学期 (42)	二学期 (65)	三学期 (33)
<p>【4月～5月】</p> <p>Unit 1: Hajin's Diary Unit 2: Basketball Tournament</p> <p>※小テスト パフォーマンステスト</p>	<p>【9月～10月】</p> <p>Unit 4: Tour in Singapore Daily Life 4: レストラン Unit 5: How Do We Stay Safe?</p> <p>※小テスト 第2回定期テスト</p>	<p>【1月】</p> <p>Unit 7: Working Together Daily Life 7: オンラインツアーア</p> <p>※小テスト、音読テスト</p>
<p>【5月～6月】</p> <p>Daily Life 1: 電話 Unit 3: Plans for the Summer Daily Life 2: ラジオニュース</p> <p>※音読テスト、小テスト 単元テスト</p>	<p>【10月～11月】</p> <p>Daily Life 5: 電車の乗り換え Daily Life 6: 体調不良 Unit 6: Guide Dogs</p> <p>※音読、単元小テスト 第3回定期テスト</p>	<p>【2月】</p> <p>Unit 8: Performing a Play Let's Read 3: Emojis</p> <p>※ワークブック (文法副教材) ノート提出 第4回定期テスト</p>
<p>【6月～7月】</p> <p>Let's Read 1: The Cookies You Can Do It 1: わが町観光プラン Daily Life 3: アナウンス</p> <p>※ワークブック (文法副教材) ノート提出 音読テスト、パフォーマンステスト 小テスト、第1回定期テスト</p>	<p>【12月】</p> <p>Let's Read 2: Meet Hanyu Yuzuru You Can DO It 2: 誰もが楽しめるイベントを提案しよう!</p> <p>※ワークブック (文法副教材) ノート提出 スピーキングテスト</p>	<p>【3月】</p> <p>You Can Do IT 3: かるたで地域をPRしよう Let's Read More 1: Plastic Food Samples Let's Read More 2: Ainu, My Voice</p>

評価の観点と規準 (各観点の割合はすべて達成率100%で統一する)

	評価の観点	評価の方法・資料	評価方法の規準と「概ねB」「満点」などの設定
I	<p>＜知識及び技能＞</p> <p>各教科等における学習の過程を通した知識及び技能の習得状況について評価をするとともに、それらを既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているかを評価する。</p>	<p>定期テスト 単元テスト 小テスト パフォーマンステスト (会話テスト)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各単元終了後に小テストを行う。 単元確認テスト、リスニングテストは状況に応じて行う。 ※ワークシートやパフォーマンステストはその都度、評価表があり、詳しい基準が示されている。評価は点数の場合と、(S) A B Cの評価がある。
II	<p>＜思考力・判断力・表現力等＞</p> <p>各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかどうかを評価する。</p>	<p>定期テスト 単元テスト 小テスト パフォーマンステスト</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各単元終了後に小テストを行う。 単元確認テスト、リスニングテストは状況に応じて行う。 音読テストは10段階で評価する。 パフォーマンステストはS、A、B、Cで評価する。聞き手を意識した発表として特に優れていること=S、聞き手を意識した発表であること=A、聞き手を意識したスピーチとして工夫にかけること=B、聞き手に対する一層の意識を要する=C。 ※ワークシートやパフォーマンステストはその都度、評価表があり、詳しい基準が示されている。評価は点数の場合と、(S) A B Cの評価がある。
III	<p>＜主体的に学習に取り組む態度＞</p> <p>知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価する。</p>	<p>・「知識及び技能」の観点の評価 ・「思考力・判断力・表現力等」の観点の評価 ・授業態度、提出物の状況などの平常点 など</p>	<p>〔全教科共通〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 「知識及び技能」の観点の内容について、指示に従ってしっかりと行おうしたり、学ぼうしたりする。 「思考力・判断力・表現力等」の観点の内容について、指示に従ってしっかりと行おうしたり、学ぼうしたりする。 授業、課題に意欲的に取り組み、意見を積極的に発言しようとする。 〔平常点〕 SSノートは毎回1ページ以上を課題とし、チェックを受ける。チェックの数に応じて評価する。 長期休業中の課題については、指示通りに取り組むと満点。取り組み内容に応じて評価をする。

